

# のびゆく中和っ子

かしこく なかよく 元気よく

～学び合い、高め合い、ふるさとと共に歩む中和っ子～

旭市立中和小学校 令和6年1月12日 NO. 16

## あけましておめでとうございます。

令和6年 新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。本年が皆様にとって幸多き年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。



元日に発生した「能登半島地震」そして、2日に起きた「日本航空旅客機と海上保安庁の飛行機炎上事故」。亡くなられた方、被災された方が多数おり、言葉にできない思いでいっぱいです。地震被害は、津波、火災、山崩れ、道路の寸断、家屋やビルの倒壊など大変なもので、映像を見るたび、話を聞いたたびに胸が締め付けられます。地震を引き金にありとあらゆる事が起きています。電気や水道などのライフラインが止まった中で、家を追われ、余震に怯える避難所生活が続き、十分な食料や暖が取れない中、日本海の寒さ、雨、雪がさらに避難生活を苦しめています。平和な日常、何気ない毎日がいかに幸せなことを思い知らされます。「自分の命は自分で守る」「安全を確保する」「安全な判断をし、安全な行動をとる」など、私たちは教育を通して児童に教え、「危機回避能力」を高めていきたいと思ひます。同時に、奇跡ともいわれる日本航空機からの全員脱出からは「集団行動」「規律を乱さない行動をとる」ことの大切さを改めて感じました。様々なことを学校現場に置き換えながら考えておこななくてはならないと強く感じています。



## 学校経営を返って

今年度も職員による学校運営評価（自己評価）、児童と保護者によるアンケートの結果をまとめ、学校運営を振り返りました。皆様からは温かい励ましや嬉しいコメント、学校内だけでは見過ごしてしまうような視点からの貴重な意見、指摘などをいただきました。資料を基に中和小学校の強みをさらに生かし、改善すべき点を職員が共通に認識し、来年度の学校経営に生かしていきたいと考えます。

資料に示す数字は、各項目を「あてはまる(4点)」「どちらかといえばあてはまる(3点)」「どちらかといえばあてはまらない(2点)」「あてはまらない(1点)」の4段階を数値化して処理したものです。全校の欄の( )は昨年度の数値です。

### 資料1 【中和小学校児童 学校・家庭についてのアンケート】

観点	No.	アンケート項目	全校	低学年	中学年	高学年
かしこく	1	授業はわかりやすいですか。	3.5 (3.3)	3.4	3.5	3.6
	2	家庭学習(宿題)をしていますか。	3.7 (3.7)	3.8	3.7	3.8
	3	タブレットを授業で使うことはできていますか。	3.6 (3.3)	3.9	3.4	3.4
なかよく	4	学校は楽しいですか。	3.6 (3.6)	3.8	3.7	3.5
	5	友達と仲良く過ごせますか。	3.7 (3.7)	3.6	3.7	3.8
	6	友達や先生方などに挨拶できますか。	3.6 (3.5)	3.6	3.4	3.7
元気よく	7	外で元気に遊んだり、運動したりしていますか。	3.4 (3.2)	3.7	3.7	3.0
	8	早寝・早起きしていますか。	3.1 (3.1)	3.3	3.0	3.0
	9	家族とよく話をしていますか。	3.6 (3.8)	3.4	3.5	3.6

- すべての項目で3.1を超えていること、低学年・中学年・高学年の差が少ないこと、「かしこく」「なかよく」「元気よく」のバランスが良いことなどから、概ね望ましい学校生活を送れていることがわかります。特に、昨年度の課題であった「タブレット学習」では、授業での活用に一定の改善がみられたようです。
- 「外遊び・運動」と「早寝・早起き」の取組は、学校と家庭の両方で考えていく項目と捉えます。「外遊び」は得意な学年と苦手な学年がはっきりしています。学級担任が児童と一緒に遊んだり、学級でのレクリエーションの機会を設けたりしながら、外遊びを奨励していきます。11月に実施したアンケートにも関わらず、「早寝・早起き」は低学年でもできていない児童が増えてきています。「早寝・早起き・朝ごはん」は規則正しい生活のベースを作る上で大変重要です。家庭の協力をお願いします。
- 学校では、体力向上に向けて取り組んでいきたいと考えます。3学期は、全校で縄とび講師による授業や縦割りでの「長縄練習」を計画し、意図的に運動に取り組む機会を増やしていきます。令和6年度の教育課程の中でも工夫を試みたいと考えています。

## 資料2 【教職員による学校運営評価（自己評価）】

No.	評価内容	質問文	教職員 自己評価	保護者 アンケート
1	楽しい学校づくり	児童一人ひとりが存在感を感じられる学級経営をしている。	3.3	3.6
2	道徳心の涵養	道徳や日常の指導を通して思いやりの心や決まりを守る心を育てている。	3.3	3.3
3	わかる授業づくり	資料や補助教材、タブレット等のICT機器などを活用してわかりやすい授業を行っている。	3.6	3.1
4	学習指導	基礎・基本の定着を図るため、教材の精選・工夫を行っている。	3.5	3.0
5	体力づくり	体育や業間活動を通して運動量を確保し、発達段階や個人差に応じた体力の向上を図っている。	3.3	3.1
6	学習規律	学習時の姿勢や下敷き・線引きの使用、チャイム着席等の学習ルールを意識した指導をしている。	3.4	3.2
7	学校教育目標の具現化	「かしこく・なかよく・元気よく」の目標を意識して指導し、児童にも伝えている。	3.6	3.3
8	個に応じた指導	個々の学力や特性に応じた学習・生活支援を行っている。	3.6	3.3
9	安全・安心な学校	確実な安全点検を行うとともに、教材・教具の不備や蛍光灯の不点灯などの施設の不備がないよう、学習環境に気を配っている。	3.7	3.5
10	学校行事	行事の目的を児童と共有し、児童の自主性を生かしながら取り組んでいる。	3.5	/
11	教育指導の説明	学年便りや連絡文書等の作成時は、読み手を意識してわかりやすいように作成し、配布前に見直している。	3.8	3.6
12	開かれた学校づくり	保護者や地域住民が参加しやすいよう、学校行事を計画したり行事に協力したりしている。	3.8	3.8
13	豊かな人間関係づくり	学級会や行事などで、計画的に子ども相互の関係性を良くしたり、お互いを助け合ったりする場を設けている。	3.5	3.4

- 回答数が大きく異なるために単純に数値比較はできませんが、すべての項目で3.0以上の数字が並んでいます。学校教育へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。
- 全体的に、保護者に比べて教職員が高く評価した項目が多くなっています。これは、職員一人一人が努力してきた証だと考えます。保護者の皆さんが求める結果には到達できていないのかもしれませんが、今後も児童のより良い成長に向けて努力していきます。
- やはり課題は、「わかる授業づくり」「学習指導」です。そのためには、職員の授業力の向上が求められます。校内の指導体制の工夫や研修の充実を図りながら児童の学力向上を目指していきます。
- 児童が「学校が楽しい」と思える学校経営に尽力します。そのために、学校ができることを職員全体で考え、できることは3学期から進めますし、令和6年度の教育課程の見直しを進めます。
- その他
  - ・「給食献立表が配信になって子供と一緒に見られない」という声がありました。市内共通で進めていることなので、ご意見を給食センターに伝えていきます。他にも「配布資料も配信ばかりで分かりにくい」という声がありました。現在は、保護者からお返事をいただく文書のみを印刷して配っています。ご理解いただければありがたいです。
  - ・職員の言葉遣いについてご指摘がありました。気を付けていきます。
  - ・授業の進め方、宿題の出し方などは、児童に合わせて対応できるように努めていきます。



今回の振り返りを学校経営に生かして参りたいと思います。最後に……

令和5年11月6日の旭市立中和小学校学校再編地域検討会議において、「中和小、萬歳小、古城小を1校に統合し、統合校の位置は古城小を活用」とする基本方針に「賛成」とする。」ことが決定し、検討会議が終了しました。それに伴い、今まで学区ごとに進められてきた検討会議から、地域の代表が集まっての「代表者会議」がスタートします（令和6年1月22日）。いよいよ統合に向けての大きな動きが加速度を増していきそうです。

そして、統合の裏側には「中和小学校の閉校」が待っていることも忘れてはなりません。こちらは、学校独自で進めていくこととなるでしょう。右の冊子は、干潟町立中央小学校の百周年に作成された冊子です。中和小学校は、令和8年度（令和9年1月7日）に創立150年を迎えます。

また、令和6年度より学校評議員制度が廃止され、保護者、地域住民が学校運営に参画するコミュニティスクール（学校運営協議会）が導入されます。学校運営への協力者であり、理解者であり、アドバイザーとなってくださることを期待しています。また、統合や閉校についても、ご意見をいただけることと思います。

現在、教育界全体では、教員不足、教員の働き方改革などが大きな課題となっています。旭市教育委員会・千葉県教育委員会などのご指導の下、こういった視点からも学校経営の見直しを図っていきたいと考えています。

